

奈っ自慢子

子どもたちに身に付けさせたい力 文責 宮本金一朗

主体性しゆたいせい : き気づく→ か考える→ う動く
ひとまえりよく

人前りまへ力 : 自ら表現・他者理解・協働

たい力りよく : 体力・耐力・態力 4月22日(木)

校訓
教育目標

なせばなる なさねばならぬ なにごとも ならぬは 人の なさぬなりけり
 夢・実現 ~夢の実現に向かって努力する「奈っ自慢子」の育成を通して~

【相手に気持ちが伝わるあいさつ】

私は、隣の久賀島出身です。現在島の人口は約300人、地元出身の小中学生は1人となっています。私が小中学生の頃は島の人口が1000人くらいでしたから、急激に過疎化が進んでいることがわかります。そんな小さな島ですから、当然高校はありません。私は、中学校を卒業すると隣の福江島の高校へ進学しました。1学年8クラス、1クラス40人程の生徒がいます。クラスには知り合いは誰もいません。しばらくは教室で一人で過ごすことが多く、毎日とてもさみしい思いをしていました。なかなか馴染めなかった苦い思い出があります。そんな中、ある日の登校中に「おはよう」と声を掛けてくれたクラスメイトがいました。こちらもおはよう」とあいさつをし、それから教室まで話しながら一緒に歩きました。張りつめた緊張感が一気になくなり、その後まわりともコミュニケーションが取れるようになりました。30年以上経った今でもあのときのことを時々思い出します。「おはよう」のひと言に救われたのです。

教師生活ももう少しで30年経ちますが、私にとってあいさつの指導は特別なものです。「おはよう」というひと言が相手を救います。また、逆に「おはよう」と自分から声を掛けることができたなら私の高校入学時のような思いはせずに相手とコミュニケーションをとることができます。

奈留島は、あったかい島です。小さい頃からずっと子どもたちを見守ってくださっています。言葉が発しなくても態度として表さなくても相手の思いを汲んで接してくれます。



みんな元気で気持ちのよいあいさつを実践しています!!

しかし、社会人として次のステージでがんばろうとしたとき、「あいさつ」は必ず必要です。今年度は、「相手に気持ちが伝わるあいさつ」をキーワードに指導していきます。声の大きさ、会釈、目線など一人ひとりが相手に気持ちが伝わるあいさつを考えて（工夫して）実践するようがんばります。

【転入職員を紹介します!!】

職名	氏名	前任校
教頭	射場 正樹	長崎市立戸石小学校
教諭	平野 正樹	長崎市立深堀小学校
講師	林 繁斗	臨時採用
教諭	田中 彰人	大村市立大村中学校
教諭	梅山 徳子	新規採用
教諭	川上 愛未	五島市立福江中学校
教諭	松尾 大輔	新規採用
校長	宮本 金一朗	五島市教育委員会

【スクールカウンセラー着任式】

今年度から新しく池田聡子さんがスクールカウンセラーとして来校されます。県外の方ですが、これまで五島市内の他の小中学校や関係機関等で勤務をされていたので、五島のこともよくご存じです。月に2回程度来校されることになっています。児童生徒だけでなく、保護者の方も利用可能です。日程の調整等を行いますので、希望がある場合は学校まで早めにご連絡ください。なお、小中学校での勤務は13:40~16:00となっています。よろしくお願いいたします。